

～2012年 矢野川中学校 1.17の集い～

誓いの言葉

阪神・淡路大震災から17年が経ちました。

日本や、世界の多くの人々に、地震の被害に遭う前に、

「震災の教訓を知ってもらいたい、使ってもらいたい」と願って

発信し続けてきた方々がいらっしゃいます。

矢野川中学校の先輩たちも、そして私たちも、その方々から多くを学び、

語り継ぐ活動を行ってきました。

昨年、3月11日 東日本大震災が発生しました。

死者は15,836人、戦後最悪の災害となりました。

和歌山、奈良、そしてこの兵庫でも、台風による大きな被害が出ました。

タイでは大規模な洪水が起こりました。

今、地球規模で起こる様々な自然災害は、人と人とのつながりの大切さを忘れ、

自己中心的な行動ばかりとっている、私たち人類への、

自然からの警鐘ではないのでしょうか。

毎年のように、世界中で多くの人たちが犠牲になっています。

やはり、震災の教訓がまだまだ伝え生かされていないのです。

誰でも、地震や水害に遭遇します。

だから、私たちは災害の教訓を、もっと、もっと学ばなくてはならない。

そして、自分たちから、もっと伝えていかなくてはならない。

今、私たちにできること・・・。

学び合おう、伝えあおう。阪神淡路大震災の教訓を。

そして「つながりあおう」

災害に立ち向かうために、一番大切なことだから・・・。

2012年 1月13日 矢野川中学校生徒会